

2016年5月27日

伊勢志摩サミットにて 世界が注目の日本ワイン「シャトー・メルシャン」を提供

ワーキング・ディナーには「シャトー・メルシャン マリコ・ヴィンヤード オムニス 2012」

その他「同 北信シャルドネ 2014」、「同 アンサンブル ももいろ 2013」も

メルシャン株式会社（社長 横山清）は、G7 伊勢志摩サミット 2016 の 26 日ワーキング・ディナーにて「シャトー・メルシャン マリコ・ヴィンヤード オムニス 2012」、26 日ワーキング・ランチと安倍総理大臣夫人主催夕食会にて「シャトー・メルシャン 北信シャルドネ 2014」が提供されました。また、期間中には「シャトー・メルシャン アンサンブル ももいろ 2013」も提供されました。

近年、日本産ブドウを 100%使用した日本ワインが注目を集め、全国各地において多くの造り手が高いレベルで切磋琢磨する活発な市場となっています。昨年 10 月の国税庁による「果実酒等の製法品質基準」の告示や 2020 年の東京オリンピック開催など、これからも様々な場面で日本ワインに対する関心が高まっています。

「シャトー・メルシャン」は、「良いワインとは、その土地の気候・風土・生産者によって育まれるブドウの個性を、素直に表現したものである。」という信念のもと、「GROWING DIFFERENCES IN THE WORLD」（違いを育む）をコンセプトに掲げ、日本のワインにしか表現できない個性を追究してきました。そして、たどりついたのが「フィネス&エレガンス」（調和のとれた上品な味わい）というスタイルです。「シャトー・メルシャン」は、日本が世界的にも優れた個性を持ったワイン産地として認められること、そして、日本ワインが愛され親しまれることを目指しています。

直近では、4月にオーストラリアのワインメーカーである Eddie McDougall 氏が主催するアジアワインに特化した品質評価サイト「Asian Wine Review 創刊号 2016」にて、アジアのワイナリーの頂点となる「ワイナリー・オブ・ザ・イヤー賞」を受賞しました。

●今回提供されたワインについて

・「シャトー・メルシャン マリコ・ヴィンヤード オムニス 2012」

当社は、日本最高品質のワイン造りを目指すべく、長野県上田市丸子地区にて 2003 年より自社管理畑「椀子（マリコ）ヴィンヤード」を展開し、ブドウの栽培を開始してきました。『オムニス』とはラテン語で「全て」を意味し、椀子（マリコ）ヴィンヤードのポテンシャルを最大限表現すべく、シャトー・メルシャンのワインメーカーが厳しく選抜したキュヴェのみで造られています。日本ワインならではの調和の取れた上品な味わいと、椀子（マリコ）ヴィンヤード産のブドウが持つ力強さを兼ね備えたワインです。



・「シャトー・メルシャン 北信シャルドネ 2014」

長野県北部千曲川流域の北信地区（須坂市、高山村、長野市）に所在する、垣根仕立ての畑のシャルドネを醸造・育成した、「シャトー・メルシャン」最高峰の白ワインです。区画ごとに発酵を行い、各地区の特徴をバランスよくブレンドしました。砂礫質の右岸からは深みと力強さ、粘土質の左岸からはトロピカルな華やかさが与えられた、バランスの良い複雑な味わいの白ワインです。



・「シャトー・メルシャン アンサンブル ももいろ 2013」

日本国内で育まれるそれぞれの産地のブドウをマリアージュする事で生み出される味わいの「調和（アンサンブル）」が楽しめるワインです。メルローを主体に、マスカット・ベリーAなどをバランスよくブレンドしたうま味のあるロゼワインです。



メルシャン株式会社は、ワイン事業スローガン「ワインのおいしい未来をつくる。」のもと、ワインのある豊かな時間を通じて、人と人とのつながりを楽しんでいただけるよう、さまざまな提案を続けていきます。

（お客様お問い合わせ先）

キリン株式会社 メルシャンお客様相談室（フリーダイヤル）TEL 0120-676-757

キリンホームページアドレス <http://www.kirin.co.jp>